

平成28年度 奈良女子大学 健康なら 21Step アップ事業

今年度テーマは、『我動く、故に我あり』

奈良女子大学では、奈良県ならびに市町村が推進する「健康なら21計画」と連携して、身体運動を通じて「健康づくりによる地域の活性化」に貢献することを目的に、「健康なら Step アップ事業」を平成15年度から立ち上げ、幼児から高齢者まで様々な世代を対象とした運動プログラムの開発や、それらの普及にかかわる指導者の育成を課題としてきました。これらの課題を達成する活動の一つとして「フォローアップ研修会」を開催し、高齢者の体力維持に焦点をあてた「ステップアップ体操（奈良女子大学作成）」を代表とする各種運動プログラムの開発・啓蒙や、地域の運動指導者や指導リーダーなどのスキルアップをはかる場を提供しています。 **運動指導に携わっておられる新規会員を随時募集しています。事前申し込み不要ですので、お気軽にご参加ください。**

第4回 フォローアップ研修会 11月26日(土)15:10~16:40

受付： 14:40~ E109 教室前

奈良体育学会 共催

公開講座『スポーツを支える教育的サポート』

趣 旨： 今夏はリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催され、メダルラッシュの好成績に、多くの国民がスポーツへ熱いまなざしを送りました。スポーツが、「する」だけでなく、「見る」「支える」「学ぶ」といった視点をもつことを知るよい機会でもありました。本シンポジウムでは、スポーツ実践を「支える」にあたって、学んでおくべき考え方に着目し、子どもからトップアスリートまで幅広く支援しておられるシンポジストの方々に、スポーツにおける教育的サポートの重要性について話題提供いただきます。単に、知識の提供や人的サポートをするのではなく、自分のからだをコンディショニングできる行動変容への主体者教育や、2020年東京オリンピックに向けたオリンピック教育にも関連したスポーツに対する考え方を市民の視座からお話しいたします。そしてそこから、スポーツ実践を支えるそれぞれの立場での展望をフロアの皆様と共に探っていきたいと考えております。

シンポジスト：

笠次 良爾 氏（奈良教育大学）

「スポーツ現場のメディカルサポート・リスクマネジメントを教育的な視点から考える」

穴井 隆将 氏（天理大学）

「リオから東京に向けて何を変えるか～スポーツを支える力を市民の視座から考える～」

指定討論者：高橋 豪仁氏（奈良教育大学）

司会・コーディネーター：星野 聡子氏（奈良女子大学）

お問い合わせ：奈良女子大学地域貢献事業「健康なら 21Step アップ事業」

生活環境学部心身健康学科スポーツ健康科学コース星野 メール：satoko@cc.nara-wu.ac.jp